



Fukuizumi

軽くて
環境にやさしい
金属屋根材

シルキーG2[®]

Construction photos

施工写真



注意

- 製品の仕様及び価格は予告なく変更することがあります。また、予告なく発売を中止する場合がありますのでご了承ください。
- 仕様により価格が異なりますので、詳しくは弊社営業におたずねください。
- 当カタログからの無断転載はかたくお断りします。
- 印刷のため、カタログと実際の製品の色が多少異なる場合があります。
- 表紙の写真はイメージ写真ですので実際の製品とは異なる場合があります。



国土交通大臣 許可(般-2)第21516号
断熱材一体型 金属屋根材 外壁材 製造元

福泉工業株式会社

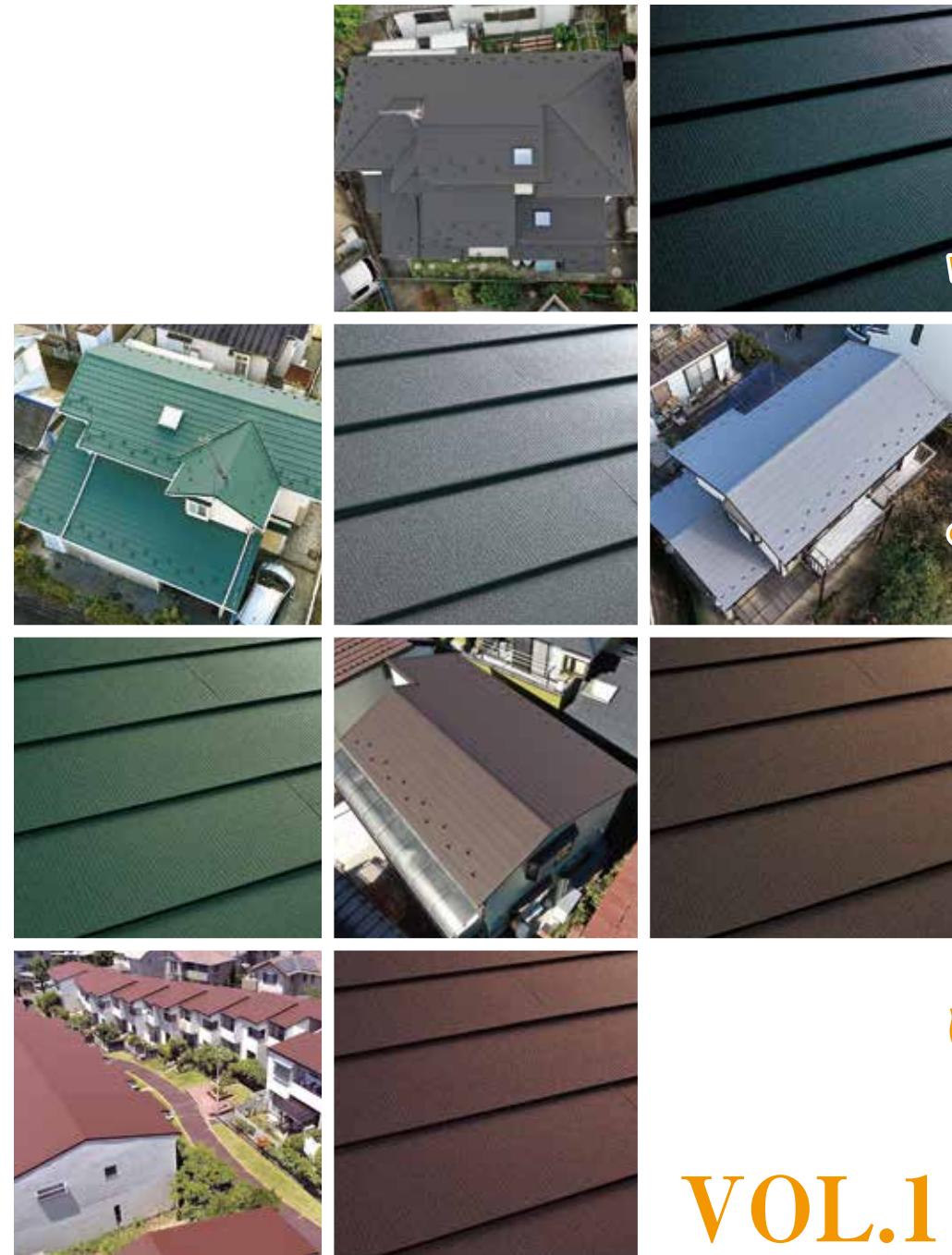
本 社 〒593-8315 大阪府堺市西区菱木4丁2879-1
TEL 072 (273) 2277(代表) FAX 072 (272) 2727
東京支店 〒105-0012 東京都港区芝大門1-2-8 COSMIC BLDG 5階
TEL 03 (3433) 0248(代表) FAX 03 (3433) 1900
静岡工場 〒421-0411 静岡県牧之原市坂口1966番地の1
TEL 0548 (25) 0555(代表) FAX 0548 (25) 0505



一般社団法人 日本屋根診断士協会推奨品



KI-10101217
2025.04_1000



VOL.1



Fukuzumi かわらシルキー-G2®

遮熱ちぢみ塗料 ウレタン一体型ガルバリウム鋼板屋根材

地震や台風にも異常気象による豪雨にも心強く！
酷暑の夏には遮熱塗膜で、寒い冬にはウレタンフォームによる断熱で
快適な住まいづくりにお応えできる、機能的な屋根材です。

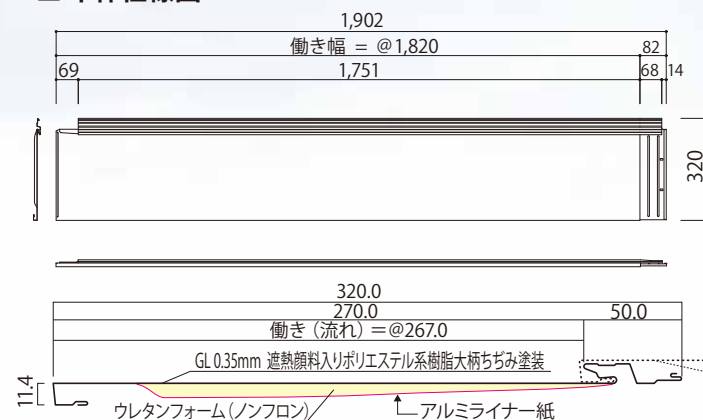
■ 商品特長

- ①軽量で地震及び台風に心強い屋根材です。
- ②耐久性に優れたガルバリウム鋼板を採用しています。
- ③遮熱ちぢみ塗料で「キズ」を目立ちにくくしています。
- ④裏面のウレタンフォームとアルミライナー紙により断熱効果が優れています。
- ⑤ウレタンの為、他社商品に比べ固く、踏んでも安心感があります。
- ⑥本体のジョイント部が面一となり、意匠性に優れています。
- ⑦裏面のウレタンフォームとアルミライナー紙により雨音がほとんど気になりません。
- ⑧製品保証 **穴あき25年 赤さび20年 塗膜15年** の保証

※保証内容については保証規定をご参照ください。

強い！軽い！はやい！美しい！さらにエコ！という
今の屋根材に求められる機能のみならず
拔群の性能を兼ね備えた屋根材です。

■ 本体仕様図



■ 本体かわらの仕様

寸法(幅×長さ×高さ)	1,902mm×320mm×11.4mm
働き	1,820mm×267mm
板厚	0.35mm
材質	熔融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板 遮熱顔料入りポリエステル系樹脂大柄ちぢみ塗装
1枚当たりの重量(平均重量)	2.5kg
3.3㎡あたりの重量(平均重量)	約17kg
3.3㎡あたりの枚数	約6.79枚
梱包単位	8枚
固定方法	コースネジ ※スクリー 釘L50以上(木下地の場合)
最低施工勾配	2.5寸以上

飛び火認定取得番号 DR-2022



軽量性・ガルバリウム鋼板	4
遮熱ちぢみ塗料	5
ウレタンフォーム	6
本体接合部の面一・施工性とローコスト	7
結露対策・太陽光パネル	8
施工写真	9
ブラック	10
ダークブラウン	16
GINGGRO	22
グリーン	24
ワインレッド	26
飛び火性能	28
屋根の下地確認	29
環境・適用範囲	30
屋根のお手入れ	31

■ マンセル値

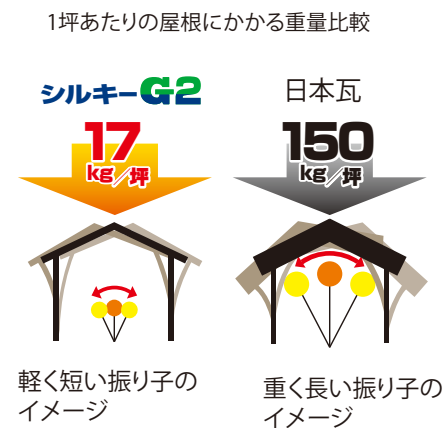
色名	ブラック	ダークブラウン	グリーン	ワインレッド	GINGGRO
色記号	#3931	#3605	#2110	#2310	#2906
H(色相)	3.03PB	7.30R	5.95G	7.29R	6.52PB
V(明度)	2.64	2.83	3.24	3.05	3.91
C(彩度)	0.21	0.45	1.66	2.38	0.39

軽い

◆ 軽量性

◆ 軽量で地震に心強い

シルキーG2は日本瓦の約1/10の軽さで、建物への負担を極力おさえ、もしもの地震の際にも心強い屋根材です。この軽さでカバー工法によるリフォームにも最適な屋根材です。



強い

◆ 豪雨・強風にも心強い

シルキーG2は、ハゼ掛け嵌合方式を採用しているので、ビス打ち部・切断部・接合部が露出せず直接雨水に触れません。下記の試験では漏水はもとより“バタつき”すらないという結果です。



水密性能試験

風速 30 m/s
降水量 240mm/h

漏水なし

耐風圧性能試験

風速 60 m/s

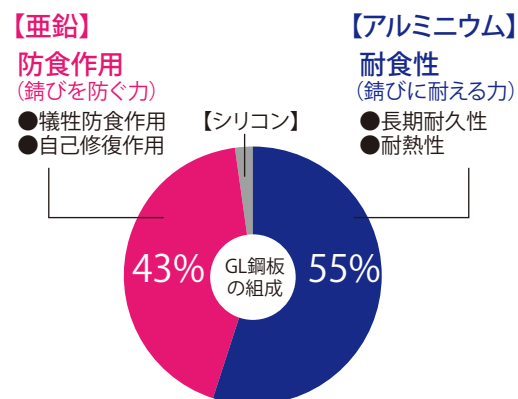
破壊なし

強い

◆ ガルバリウム鋼板とは

◆ アルミと亜鉛の合金メッキで防食、耐食性が一段と向上

業界では「ガルバ」や「GL鋼板」と略します。従来の「カラー鉄板」は亜鉛100%で赤錆と穴あきの現象が起きました。改善策としてアルミニウムを採用、アルミニウムはめっき表面に耐食性に優れる薄膜の不動態皮膜を形成して鋼板を保護します。また亜鉛は、風雨などでキズが発生した場合も、鉄より先に亜鉛が溶け出し鋼板を保護します。(犠牲防食作用)ガルバリウム鋼板のめっき層は、アルミニウムと亜鉛が網目状に形成され、犠牲防食作用で亜鉛が溶け出した部分をアルミの腐食生成物が埋めてゆき、これを自己修復作用と呼んでいます。

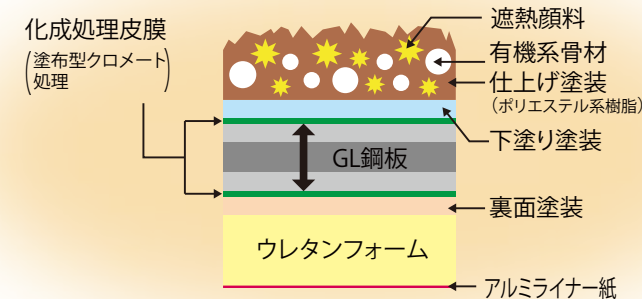


◆ 遮熱ちぢみ塗料とは

強い

◆ 遮熱顔料入りちぢみ塗装による優れた耐久性能

シルキーG2の表面は、ポリエステル樹脂塗装を焼付塗装することで優れた耐久性能を実現しました。ちぢみ保護膜の形成により耐磨耗性に優れ屋根を美しく保ちます。



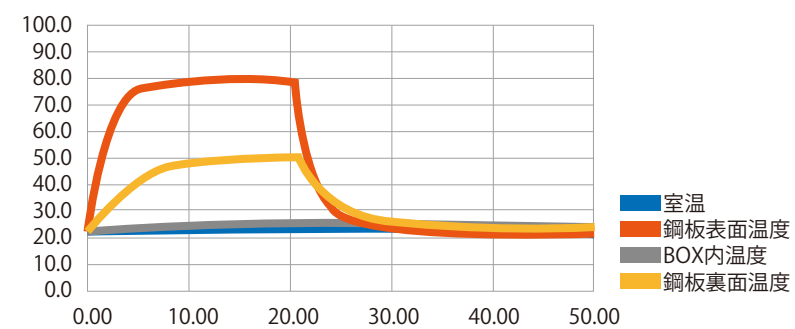
◆ 優れた遮熱性で鋼板温度の上昇を抑制

特殊な顔料を採用することにより、赤外線を一般カラーよりも多く反射させ、日射による鋼板温度の上昇を抑制しております。

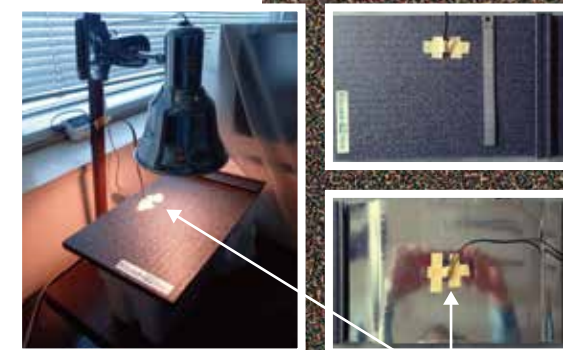
ランプ照射試験結果

- ・ランプ照射試験: 100Wのハロゲンランプにてサンプルより約10cm離して照射し、温度を測定。今回は20分後にランプを消灯させた。
- ・鋼板表面温度: 表面にセンサーを付け温度測定
- ・鋼板裏面温度: 裏面中央にセンサーを付け温度測定 (裏張り材あるものは裏張り材付きで測定)
- ・BOX内最高温度: 発泡スチロール容器 (容積2200cm³) 内にセンサーを置き温度測定 (サンプルとの距離約11cm)

※裏張り材厚さ: 7mm部分



鋼板表面温度		鋼板裏面温度		BOX内温度		室温	
最大	15~20分平均	最大	15~20分平均	最大	温度差最大・最小	平均	標準偏差
79.7	78.7	49.8	49.7	27.7	4.6	23.5	0.15



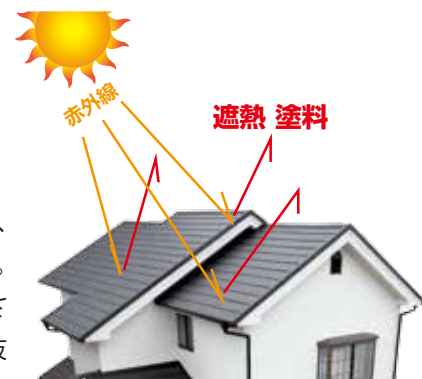
センサー

◆ウレタンフォームについて

エコ

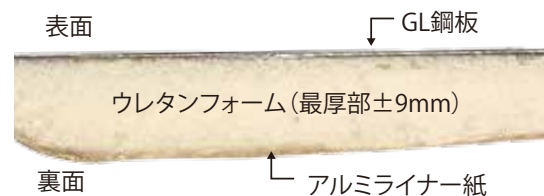
◆遮熱＋断熱＋防音で快適に

表面は、遮熱顔料をふんだんに含んだ遮熱塗膜で、赤外線を反射して小屋裏の温度上昇を抑制します。また、裏面のノンフロウウレタンフォーム9mm厚さとアルミライナー紙で、断熱効果＋防音効果も抜群です。

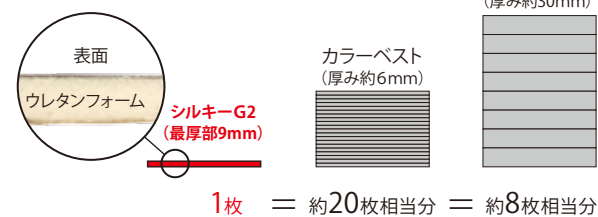


●遮音・断熱に効果を発揮するウレタンフォームとアルミライナー紙

裏面のウレタンフォーム（最厚部9mm・ノンフロウ）とアルミライナー紙が、気になる雨音を軽減する上、室内の断熱にも効果を発揮し、快適な住まいを実現します。



シルキーG2相当の熱抵抗に必要な厚み



熱伝導率

屋根材	熱伝導率※1 (w/m・K)	厚さ9mm時の熱抵抗※2 (m ² ・K/W)
シルキーG2	0.035	0.257
彩色石綿板	0.408	0.0190
瓦	0.830	0.0093

※1 熱伝導率：材料の中を通る熱の移動しやすさを表す値。値が大きいほど熱を通しやすい。
※2 熱抵抗：材料のある厚みでの熱の移動しにくさを表す値。値が大きいほど熱を通しにくい。

●デシベル値について

シルキーG2の施工架台の下に入り測定器にて測定 (距離100mm)	ビニール傘の下からの測定 (距離100mm)	本社工屋前折版 屋根の下にて測定 (距離2m)
最小数値 48.9 dB 最大数値 51.2 dB	最小数値 66.7 dB 最大数値 71.5 dB	最小数値 65.5 dB 最大数値 75.1 dB

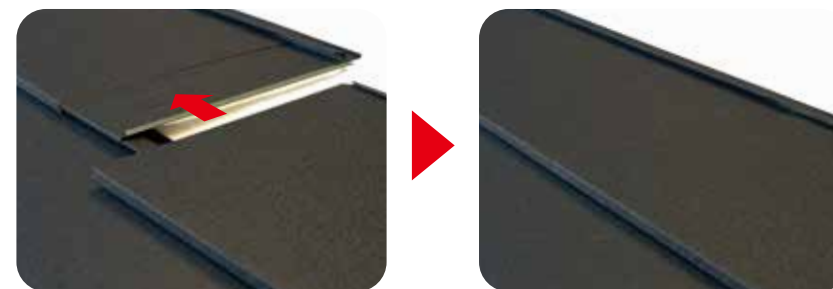
参考 気象庁ホームページ (大阪府堺市2025年4月13日16時 降水量2.0mm)

◆本体接合部が面一とは

美しさ

◆接合部まで美しく強い

シルキーG2は、水平方向の“重なり段差”が出ない接合方式を採用することで、直線が際立ち、屋根を美しく演出します。
この接合方法により、ロスを抑えた施工が可能になり短工期をも実現しました。

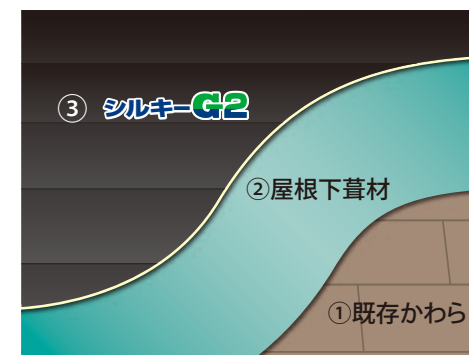


◆施工性とローコスト

◆カバー工法に最適

カバー工法は、古い屋根材をはがさず、その上に屋根下葺材を敷きつめ屋根全体をカバーした上にシルキーG2を固定する工法です。施工中のアスベスト粉じんを効果的に抑える安心の工法で住みながらの施工が可能です。

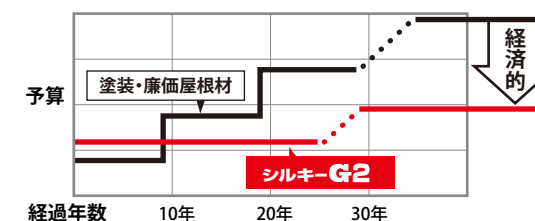
●カバー工法 断面イメージ



- ① 既存かわら (例: 平板石綿スレート)
リフォーム前の平板石綿スレート屋根は、表面塗装が劣化し、色あせが目立つ状態です。
- ② 屋根下葺材で全面カバー
屋根下葺材を屋根全面に敷き詰めます。防水処理として表面をしっかりとカバーします。
- ③ シルキーG2を固定

◆何度も塗装を繰り返すよりも葺き替え!

シルキーG2は、ガルバリウム鋼板製ということもあって、サビにも圧倒的な強さで塗替えや葺替の心配も少なくお手入れや補修の費用もシッカリ抑えて長い目で見て、とっても経済的です。

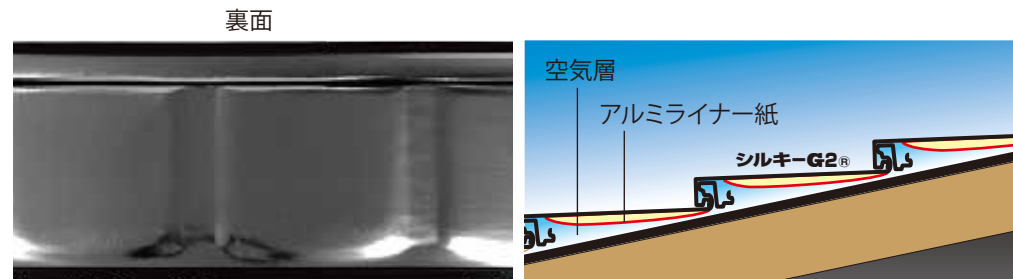


エコ

◆ 結露対策・太陽光パネル

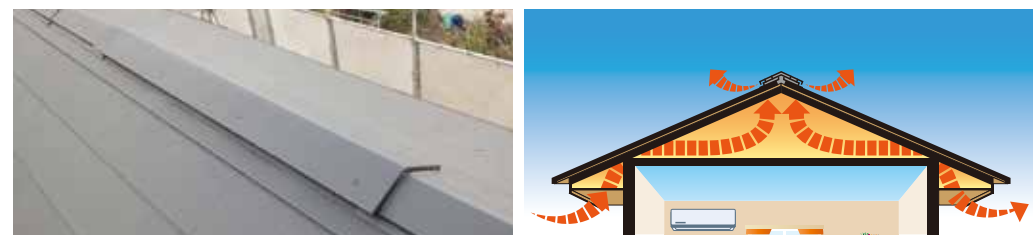
◆ 本体構造

本体裏面に「空気層」をもうけ、結露を抑制することで家を守ります。



◆ 換気棟

結露対策として「換気棟」の役物をご用意しております。



◆ 太陽光パネルも設置可能

昨今ニーズの高まる太陽光発電に関しても
スワロー工業(株)適合品の「D-SWAT II」を
ご使用頂くことで、屋根に穴をあけない工
法で太陽光パネルを設置可能です。

※新設・移設いずれも可。一部適合外パネルがございます。



Fukuizumi

シルキー-G2®

施工写真

※製品の色は撮影機材や天候など、印刷インキの関係で異なる場合もございます。

シルキーG2[®]
BLACK
ブラック

AFTER



施工例 01

(東海地区)



BEFORE

施工例 03

(関東地区)



BEFORE



AFTER

施工例 02

(関西地区)



BEFORE

AFTER





施工例 04

(関西地区)



施工例 07

(関西地区)



施工例 05

(東海地区)



施工例 06

(東海地区)



施工例 08

(東海地区)



シルキーG2®
BLACK
ブラック

施工例 09

(東海地区)



施工例 10

(東海地区)



施工例 11

(東海地区)



施工例 12

(関西地区)





施工例 01

(関東地区)



AFTER



施工例 02

(関東地区)



BEFORE

施工例 03

(東海地区)



BEFORE

AFTER



AFTER

シルキーG2®
DARK BROWN
 ダークブラウン

施工例 04

(関東地区)



BEFORE

施工例 05

(関東地区)



BEFORE

AFTER



AFTER



施工例 06

(関東地区)



BEFORE

AFTER

シルキーG2®
DARK BROWN
 ダークブラウン



施工例 07

(東海地区)



BEFORE

AFTER



BEFORE

施工例 09

(東海地区)

AFTER



施工例 08

(関東地区)



BEFORE

施工例 10

(関西地区)



BEFORE

AFTER





AFTER

施工例 01

(関東地区)



BEFORE



施工例 03

(関東地区)

施工例 02

(関西地区)



BEFORE



AFTER

施工例 01

(東海地区)



施工例 03

(東海地区)



施工例 02

(関東地区)

シルキーG2®
GREEN
グリーン



施工例 04

(関西地区)



施工例 05

(東海地区)





AFTER

施工例 01

(東海地区)



BEFORE

施工例 02

(関西地区)



BEFORE



シルキーG2®
WINE-RED
ワインレッド



AFTER

施工例 03

(関西地区)



AFTER

施工例 04

(東海地区)



BEFORE

■飛び火性能認定

飛び火性能認定 DR-2022（屋根勾配：0° 以上 30° 以下）

	材料	寸法
屋根材	シルキーG2	—
下葺材	改質アスファルトルーフィング JIS A 6005 改質ゴムアスファルトルーフィング ARK04S-03 ＊下葺き上下・左右勘合に粘着プチル施工も必要の際は可能とする ＊透湿ルーフィング JIS A 6111・粘着ルーフィングは非適合	—
野地板	①JAS 規格 普通合板 ②JAS 規格 構造用合板 (OSB 含む) ③素地パーティクルボード（JIS A 5908） 上記素材の厚さ 12 mm以上	12 mm以上
支持部材	①JAS 規格 構造用製材 ②JAS 規格 構造用集成材	幅 30 mm × 高さ 40 mm以上 （間隔 500 mm以下）

＊なお屋根材本体留め付け材は釘Φ2.15×38 mm・ビスΦ4.1×25 mm以上を使用してください。

■飛び火性能認定使用範囲

用途	地域	延べ床面積 (S) m ²	S ≦100	100 < S ≦500	500 < S ≦1000	1000 < S ≦1500	1500 < S ≦3000	3000 < S	
		階数							
共同住宅	防火	1,2 階建	準耐火構造	耐火構造					
		3 階建	準耐火構造					耐火構造	
		1,2 階建							飛び火性能（法 63 条）
	22 条区域	3 階建	準耐火構造						耐火構造
		1,2 階建	飛び火性能 (法 22・25 条 令 136 条 2 の 2)	準耐火構造（2 階床面積が 300 m ² 以上の場合）					
戸建住宅	防火	1,2 階建	準耐火構造	耐火構造					
		3 階建	準耐火 3 階建仕様		準耐火構造		耐火構造		
		1,2 階建	飛び火性能（法 63 条）						
	22 条区域	3 階建	準耐火構造						耐火構造
		1,2 階建	飛び火性能 (法 22・25 条 令 136 条 2 の 2)				準耐火構造 (大規模建築物木造 3 階建の場合*)		

シルキーG2 が使用可能な範囲です。

＊大規模建築物の木造 3 階建ては高さに制限なし、その他の木造は高さ 13m、軒高 9mを超えると特殊な場合を除き木造不可となります。

（注）飛び火性能認定は構造認定ですので、認定を取得している仕様にて施工してください。

シルキーG2 で取得している飛び火性能認定は、木造下地での仕様です。不燃下地では使用できません。

本図表は屋根のみに関する建築基準法の大まかな制限を表しています。
自治体の条例などで建築基準法より厳しい制限が設けられている場合がありますので、計画の際は前もって管轄の行政庁にご確認ください。

■新築・葺き替え工事（既存屋根材を撤去してからシルキーG2 を施工）時の屋根下地確認

- 垂木 断面寸法が 幅 30 mm × 高さ 40 mm以上 間隔 500 mm以下にて施工されていること
- 屋根下地野地板が、JAS 規格 普通合板もしくは構造用合板 (OSB 含む)、または素地パーティクルボード（JIS A 5908）の厚さ 12 mm以上が取り付けられていること（留め付け釘Φ2.15×38 mm、間隔幅方向 303 mm以下）
- 目視で垂木間に野地板の沈みがないことを確認します。
- 歩行して垂木間に野地板の沈みがないことを確認します。
- 野地板の留め付け釘が浮いているときはしっかりとしめなおしてください。
- 葺き替え施工時の屋根下地確認事項

- ・既存下地防水紙はすべて撤去して施工するようにしてください。
- ・漏水箇所がある場合は必ず漏水の原因を確認後防水処置を施したあとに施工するようにしてください。
- ・野地板の一部が腐食している場合には腐朽した箇所の野地板を交換後に施工するようにしてください。
- ・雨樋は交換されることをお勧めします。

既存のアスベストが含有されているタイプの屋根用スレートの解体、破砕などを行う場合は、石綿障害予防規則に従って作業を行ってください。なお、関係法規や工事の届け出、廃棄物の処理方法などにつきまして不明な場合は、必ず着工前に所轄する労働基準監督署や自治体の担当窓口へ相談してください。

●勾配と流れ長さ

シルキーG2 は 2.5 寸以上の勾配で以下の表にしたがって使用してください。

勾配	2.5 寸～ 3.5 寸勾配未満	3.5 寸勾配以上
流れ長さ	7m 以下	20m 以下

■カバー工法（既存屋根材の上からシルキーG2 を施工）時の屋根下地確認

●葺き替え施工時の屋根下地確認事項

- ・漏水箇所がある場合は必ず漏水の原因を確認後防水処置を施したあとに施工するようにしてください。
- ・歩行して垂木間に野地板の腐食がないことを確認します。特に湿気のこもりやすい北面側や直下または周辺に水回り設備が配されている部屋の上などには湿気が長期間滞留し、野地板が傷んでいる可能性がありますので、よくご確認ください。
- また場合によっては野地板保持力を施工前に確認しなければならない場合もあります。
- ・野地板の一部が腐食している場合には腐朽した箇所の野地板を交換後に施工するようにしてください。
- ・雨樋は交換されることをお勧めします。

●化粧スレート板・アスファルトシングル葺きで施工されている屋根に適用できます。

■適用範囲

- 屋根下地 前頁の下地の確認と前々ページの飛び火性能認定に示したとおりとする。

●基準風速他

項 目	条 件
屋 根 高 さ	地上 13mまで*
基 準 風 速	40m/ 秒以下の地域*
地表面粗度区分	III *
屋 根 勾 配	2 寸 5 分以上
野 地 板	厚さ 12 mm以上の JAS 規格合板・構造用合板（含 OSB 板）
屋根材固定間隔	455 mm以下

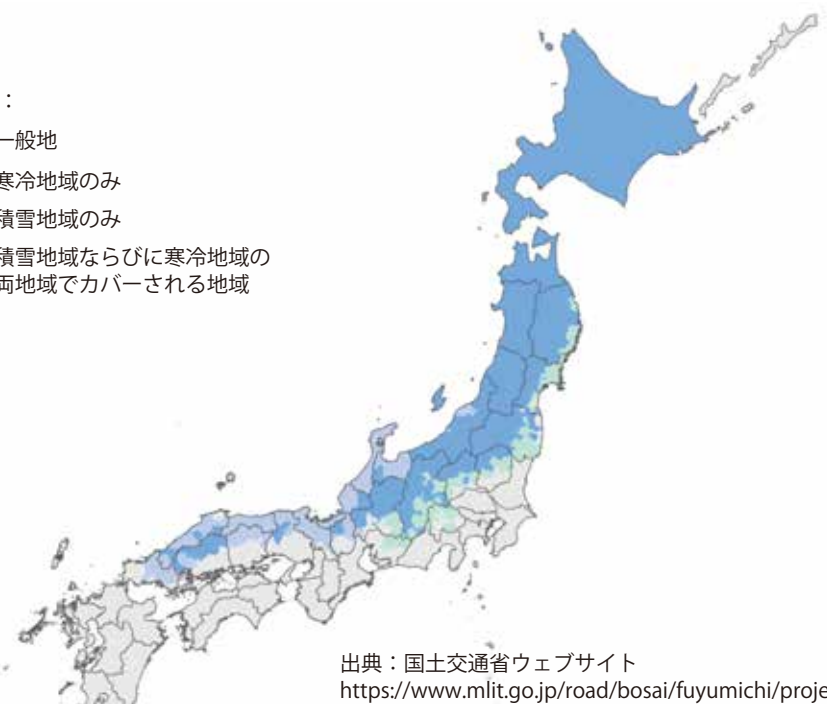
*上記以上の環境で採用をご検討の際には弊社担当者までご連絡ください。
別途耐風圧検討を行わせていただきます。

●積雪地域

シルキーG2は基本的に下図一般地域エリアで施工を行ってください。
寒冷地・積雪地域で施工を行われる場合は弊社担当者までお問い合わせください。

凡例：

- 一般地
- 寒冷地域のみ
- 積雪地域のみ
- 積雪地域ならびに寒冷地域の両地域でカバーされる地域



出典：国土交通省ウェブサイト
<https://www.mlit.go.jp/road/bosai/fuyumichi/project.html>

■ガルバリウム鋼板の避けたい環境



沿岸地域

金属屋根（ガルバリウム鋼板を含む）は潮風による塩害の影響を受けやすい屋根材です。（海岸線より500m以内）

安全に関するご注意

屋根は墜落、転落するおそれのある危険な場所ですので、屋根に上った点検や補修は必ず専門業社にご依頼ください。

■お手入れについて

屋根は非常に厳しい気候条件で大切な家を長く守っていく重要な部位です。
金属屋根は定期、不定期のお手入れを実施することにより、美しさと性能をより長く維持することができます。以下の内容を参照して頂き、お手入れを行ってください。

お手入れガイド

●維持管理（お手入れ）の目安

5 年毎の定期点検と台風通過後、地震発生後の点検をお勧めいたします。

※メンテナンスに関しては、専門業社にご依頼ください。

●変色・色あせ・塗膜のはがれ・汚れ・コケが目立つ場合

屋根面を清掃のうえ、再塗装してください。

※屋根材表面の変色・色あせ・塗膜のはがれ・汚れの付着・コケの発生などは屋根材の強度や防水性能に直接影響を及ぼすものではありませんがより長くお使いいただくために、清掃や塗装によるお手入れをお勧めします。

※気象状況（黄砂）や屋根勾配によって部分的に砂が残ることがありますが瓦全体の品質に影響はありませんのでご安心ください。



■お手入れに関するご注意

高所作業は、落下事故などの危険が伴います。
確認のため、お施主様自身が屋根に上ることは絶対にないようにしてください。落下事故によるけがや屋根の変形、キズ等のおそれがあります。



高圧洗浄機は漏水の原因となるおそれがありますのでお避け下さい。
高所作業や高所の確認、補修を行う場合は、専門業社にご相談ください。



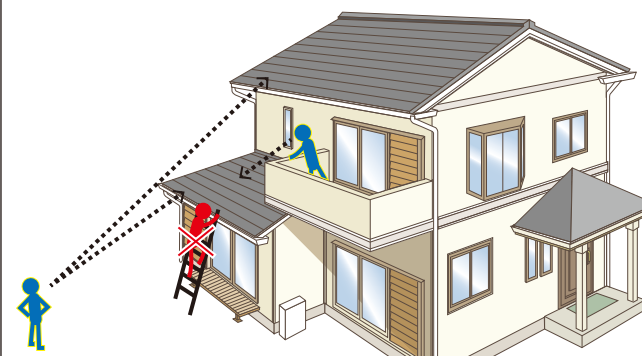
万が一、雨漏りが発生した場合、専門業社にご相談のうえ、原因を特定し、適切な処置を行ってください。



汚れ、色あせ、シーリング切れ、傷などが発生した場合、専門業社にご相談ください。
シーリングに異常があった場合、部分補修・または打ち替えが必要です。
そのまま放置しますと、隙間より雨が侵入し、雨漏りの原因となります。



ハシゴを使用した屋根の確認は、落下事故の危険もあるため絶対にしないでください。
点検は、すこし離れた所から全体を、1階の屋根は2階の窓から確認してください。2階の屋根は専門業社に依頼してください。
メンテナンスに関しては、専門業社にご依頼ください。



再塗装、補修のメンテナンスは有料となっております。専門業社にご相談のうえ、お手配願います。